

学生の諸行事

大学祭—姫山祭・医学祭・常盤祭—

大学祭は、昭和24(1949)年の開学から毎年欠かさず行われている。当初は大学祭という名称の行事はなかったが、11月5日の開学式前後に行われた開学記念行事を、昭和26年からは大学祭とし、この年のものを第3回とした。吉田キャンパスの大学祭は通称「姫山祭」と呼ばれ、11月上旬に行われている。同様に宇部地区では、小串キャンパス(医学部)で医学祭を、常盤キャンパス(工学部)で常盤祭を開催している。近年では、大学祭に地域の方も多く参加され、学生自身が楽しむだけではなく、地域の方との交流の機会にもなっている。



(左)大学祭ステージ(昭和40年)
(上)市内パレード(昭和40年)

現在の姫山祭の様子
(平成25年)





(上) 常盤祭(昭和59年)
 (左下) 常盤祭ステージ(昭和58年) (右下) 医学祭(昭和45年)

(上) 常盤祭(平成25年)
 (下) 医学祭(平成25年)

七夕祭

7月初めの土曜日に実施される七夕祭は、統合移転前の各学部の寮で行われていた寮祭が前身であり、吉田地区の統合移転に合わせて吉田寮、榎野寮が引き継ぎ、現在も行われている。吉田キャンパスに移転当初は吉田寮、榎野寮で個別に行っていたが、昭和46(1971)年から「七夕祭」に統一された。毎年4月、新入生は実行委員会のメンバーとして先輩と一緒に準備にとりかかり、3ヵ月の苦楽を共にする中で、大学生活に馴染んでいく大切な祭でもある。

当日はステージ企画やサークルによる展示、神輿行列、模擬店の出店などが行われる。市民の方の参加も増え、回を重ねるごとに盛大になった。平成26年で42回を数える。



七夕祭(平成25年)
 威勢の良い掛け声とともに御輿が担がれ、参加する人の目を楽しませている。



(上)七夕祭実行委員(平成25年)

七夕祭は多くの実行委員によって企画・運営されている。七夕祭までの準備期間、学内では法被を着た実行委員がよく見かけられる。

寮祭の頃・・・

七夕祭の前身である寮祭は、山口市内にあった各学部の寮で、創立記念日や大学祭に合わせて行われ、寮生以外の学生はもちろん、市民も多数参加してにぎわった。寮祭は前身校から続く伝統の行事であった。寮生がそれぞれの部屋を政治風刺や社会風刺等の飾りつけを施して、アイデアを競い、参加者がそれを見て回った。また仮装行列や樽御輿も有名であった。工夫を凝らした仮装行列や赤ふんどの勇壮な樽御輿は多くの市民の声援を受けた。この仮装行列は現在の七夕祭に受け継がれている。



鳳陽寮祭の様子(昭和30年)



時雍寮祭の様子(昭和38年)